

事業名/令和7年度徳島県空手道連盟こども審判講習会

日時/令和7年2月23日(日)

会場/徳島県立中央武道館

主催/徳島県空手道連盟 審判委員会

参加者/小学生・中学生 41名

県内の各団体においては練習生として入門してきても、中学入学と同時に多くの子供たちが辞めていく状況にあり少子化とともに多様性を重視する世の中で、どのようにすれば継続して空手道に携わってくれるのだろうかという共通の思いがありました。そこで、子供たちが実際に競技の運営(選手・審判員・競技員)を行うことで、空手道の魅力を再認識し、生涯スポーツとして捉え、空手道の継続さらには会員数の拡大に繋がっていくのではないかと考え初めての試みである、こども審判講習会を開催しました。

開催にあたり神奈川県空手道連盟様より拝借したこども審判空手道ルールブックを活用させていただきました。このルールブックは漫画を使いながら、細やかなルールを説明したもので非常によくできたルールブックです。多くの子供たちは真剣にルールブックを見ながら質問タイムでは「平安二段の形では平安五段に勝てないのですか」「相手のワンツウの突きが決まったらどちらの技がポイントになりますか」「形で気合が長い方が得点は高いですか」など多くのユニークな質問を受け、委員の先生方はひとつひとつ真剣に回答していました。その後、組手競技のジェスチャーの練習をして、いよいよ実技に入っていました。実技では4つのグループに分かれ、審判員、競技委員、選手と入れ替わりながら委員の先生の指導のもと約二時間真剣なまなざしで熱心に取り組んできました。

終了後、子供たちからは、楽しかった、またやってほしいという声が多く聞かれ今後も審判委員会の事業として継続して続けていきたいと考えています。

